

立志式の誓い 誰にも優しく

若者コーナー

立志式の誓い 誰にも優しく

荒巻 優14 中学生
(荒尾市)

2月15日に荒尾第四中、学校で立志式が行われました。僕は、この式で「優」という文字を志の言葉として選びました。この文字には、優しい、優れる、などという意味があります。

僕がこの文字にした理由は三つあります。一つ目は、誰にでも優しく接することができる存在になりたいと思ったからです。周囲に流されずに、いじめを受けている人の心も考え、行動していきたいと思ひ、この式を機会に自分を

変えていくことにしました。

二つ目は、強く、広い心を持った人になりたいと思つたからです。誰にでも優しく接するために、強い心、広い心を身につけていきたいと思ひます。

三つ目は、僕の名前が優だからです。みんな家族から名前をもらっています。そして一生に残る名前です。その名前には、家族からの思いや感情がたくさんこめられています。家族はなぜ優と名付けたのだろうかと考え、親に名前の由来を聞きました。人に優しく、人から愛される人になってほしいという思いを込めてくれました。

僕のことをたくさん考えてくれて、とてもうれしかったです。だから、僕はこれからの人生で自分の名前を大切にし、親に恩返しをしていこうと決心しました。

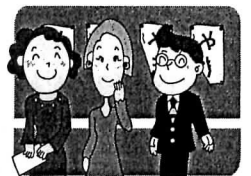
志を立てる

名前(せを巻優)

優

この文字(言葉)を選んだ理由

僕がこの文字を選んだ理由は三つあります。一つ目は、誰にでも優しく接することができる存在になりたいと思ひます。二つ目は、強く、広い心を持った人になりたいと思ひます。三つ目は、僕の名前が優だからです。みんな家族から名前をもらっています。そして一生に残る名前です。その名前には、家族からの思いや感情がたくさんこめられています。家族はなぜ優と名付けたのだろうかと考え、親に名前の由来を聞きました。人に優しく、人から愛される人になってほしいという思いを込めてくれました。



~立志式を機会に、自分を変えていく
誰にでも優しく、強い心、広い心を身に
付ける~